奥津軽 五所川原

CITY
GOSHOGAWARA
AOMORI
JAPAN



Treasureland
TOHOKU
JAPAN 日本東北

五所川原市
公式観光
サイト

観光・イベント・
物産情報
まるっと五所川原

グルメ情報
もぐもぐ五所川原



五所川原立佞武多

ビル7階建てに匹敵する高さ約23メートル、重さ約19トンの偉容。百年の時を経て歴史が街を練り歩く。



北国の夏に渦を巻く、激しい熱気

青森県を代表する火まつり「ねぷたまつり」は、厄払い行事として始まり、津軽地方を中心に受け継がれています。商人の街として栄えてきた五所川原市では、明治時代になると、豪商や大地主が競いあって巨大なねぷたを造りました。しかし、街中に電線が張られたり、火事で設計図が失われたために巨大ねぷたはなくなってしまいました。それを復活したのが「五所川原立佞武多」です。

勇ましく、華やか、巨大絵燈籠

笛や太鼓で演奏されるお囃子にあわせて〝ヤッテマレ〟という勇ましいかけ声とともに運行するねぷたは、なんと高さ約23メートル、重さ約19トン！これらは木の骨組みに針金を巡らせ、和紙を貼って複雑な姿をつくっています。明かりに浮き上がる力強い墨の輪郭と鮮やかな色彩は、津軽独特の美しさです。



2026年7月「立佞武多の館」リニューアルオープン

【五所川原立佞武多まつり】

- ●期間／8月4日～8日●時間／19:00～21:00
- ●料金／有料観覧席3,300円～（要申込）
- ●場所／五所川原市中心街
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約3分
- ●問／五所川原市観光協会☎0173-38-1515
  ※有料観覧席については、
  FMごしょがわら☎0173-34-3311
  まちなか五所川原☎0173-33-6338





上2点：立佞武多の館で展示される大型立佞武多

祭りの情熱を体感「立佞武多の館」

祭りに使用する３台の立佞武多を展示。4階から1階までらせん状のスロープがあり、祭りでは見ることのできない位置から立佞武多を眺められます。祭りの時に演奏される音楽「お囃子」の実演もあり、祭りの雰囲気をたっぷり感じられます。



館内には大型スクリーンがあり、五所川原市の風土や祭りの臨場感を感じられます。

立佞武多の館で製作体験

引退した立佞武多の紙を使ったうちわ作りができます。「立佞武多のうちわ」は独特の和柄と色使いが人気です。他にも金魚ねぷたなど津軽の民芸品も作れます。また、巨大な立佞武多が徐々に仕上がってゆく製作風景を見学することもできます。

【立佞武多の館】

- ●時間／9:00～19:00（4月～9月）、9:00～17:00（10月～翌3月）
  9:00～21:00（8月4日～8日）、9:00～15:00（12月31日）
- ※展望ラウンジは宴会の場合21:00まで
- ※お囃子実演は日曜10:10～、11:10～、13:10～、14:10～（約10～15分）
- ●入館料／立佞武多展示室一般800円
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
- ●問／立佞武多の館☎0173-38-3232
- ●MAP：Ⓑ C-2



うちわ作り体験



「金魚ねぷた」作り体験





立佞武多の骨組み作業（体験無し）

【立佞武多の館で製作体験】

- ●期間／通年
- ●所要時間／45分～90分
- ●体験料／500円～（メニューにより異なります）
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
- ●問／立佞武多の館☎0173-38-3232 ●MAP：Ⓑ C-2


太宰治記念館「斜陽館」

太宰治

今なお魅了してやまない太宰文学。
文豪、太宰治の生地探訪。

太宰治肖像（青森県近代文学館：提供）→



街全体が太宰治ミュージアム

太宰治は20世紀の日本を代表する作家の1人です。人間の心の奥深くにある弱さに寄り添い、愛や優しさに満ちた彼の作品に、国内外を問わず、多くの読者が共感しています。五所川原市金木地区は太宰治が生まれ、育った地。生家をはじめ彼の思い出の場所がたくさん残っています。また、情熱的で繊細な音楽を奏でる津軽三味線、伝統の食、雪国ならではの体験など、昔の日本の風景が今も残るこの地すべてが、ミュージアムそのものです。


斜陽館内


新座敷


新座敷


斜陽館内

【太宰治疎開の家（旧津島家新座敷）】
●時間／9:00～17:00
●休館／第1・3・5水曜（その他臨時休館あり）※要問合
●料金／一般500円、小中250円（希望者にはガイド有り）
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約4分（斜陽館より徒歩約4分）
●問／白川☎0173-52-3063 ●MAP：Ⓓ F-3

【太宰治記念館「斜陽館」】
●時間／9:00～17:00 ●休館／12月29日
●料金／一般600円、高大400円、小中250円
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
●問／☎0173-53-2020 ●MAP：Ⓓ F-3

小説『思ひ出』の背景

太宰は幼い頃、子守のタケに連れられてよくこの寺を訪れました。『思ひ出』に登場する『地獄極楽の御絵掛地』は、実際には極楽の絵は無く地獄の絵だけです。また、後生車は不慮の死をとげた子供達の供養のために建立されたもので、子供達に回してもらうことによって魂が成仏できるとされていました。


雲祥寺にある後生車


雲祥寺（MAP：Ⓓ F-3）


太宰治銅像（MAP：Ⓓ D-2）


太宰治『思ひ出』の蔵

まちなか「思ひ出」パーク

大正5年1月18日、太宰治が幼少の頃"母"と慕った叔母キエの一家が、太宰の生家である金木の津島家から分家した際に建てられ、太宰もたびたび訪れた蔵を、平成26年に再築したのが「太宰治『思ひ出』の蔵」です。他にも飲食店がある商業施設「トカトントン・スクエア」があります。

【太宰治『思ひ出』の蔵】
●開館／10：00～17：00 ●休館／8月13・14日、12月31日～翌1月3日 ●料金／大人200円、中高100円、小学以下無料 ●問／まちなか五所川原☎0173-33-6338 ●地図／MAP：Ⓑ C-2（まちなか『思ひ出』パーク）



津軽鉄道で味わう四季

津軽五所川原駅～津軽中里駅までの20・7キロメートルを45分で走るローカル列車。


④ダルマストーブでスルメを焼くアテンダント

四季の情趣を愉しむ津軽鉄道

「津軽鉄道」では軽やかな音色の風鈴を車内に吊す風鈴列車や鈴虫の鳴き声を楽しむ鈴虫列車など季節ごとにイベント列車を運行しています。列車内に石炭を燃料にするストーブを暖房にした「ストーブ列車」は、車窓の雪景色とあいまって、昔の日本にタイムスリップしたような気分になります。津軽の伝統的な料理をつめた季節ごとの４つの駅弁で、さらに列車の旅を楽しみませんか？

【津軽鉄道のイベント列車】
①風鈴列車（7～8月）
②旧型客車の運行（8月上旬）
③鈴虫列車（9月～10月中旬）
④ストーブ列車（下参照）



【④ストーブ列車】
●期間／12月1日～3月31日 ●便数／1日3往復（12月1日と12月の平日は2往復、12月30日からは毎日3往復） ●料金／運賃+ストーブ列車料金1,000円
●場所／津軽五所川原駅～津軽中里駅
●問／津軽鉄道☎0173-34-2148


①土鈴が取り付けられた風鈴列車


②昭和20年代製のレトロな旧型客車


【金木桜まつり】
●期日／4月下旬～5月上旬
●場所／芦野公園（MAP：Ⓓ D-2）
●交通／津軽鉄道芦野公園駅下車
●問／金木桜まつり実行委員会 ☎0173-52-2611


冬季間に販売する「ストーブ弁当」

【津軽鉄道駅弁】
●申込／3日前まで要予約（ご注文は2個より） ●申込先／本社☎0173-34-2148（平日＝8:30～17:00、土曜＝8:30～12:30）、津軽五所川原駅☎0173-35-7743（7:00～19:00）、金木駅☎0173-53-2056（5:40～21:00）

桜花の名所、芦野公園

芦野公園駅を降りてすぐ、約1500本の桜と松が湖畔に広がる自然公園があります。吊橋や浮橋、児童動物公園、オートキャンプ場など、見どころもたくさん。太宰治が少年の頃によく遊んだ場所で、園内には太宰治文学碑や銅像があります。旧駅舎を改装した赤い屋根の喫茶店「駅舎」は、当時の雰囲気が残るレトロな店内でコーヒーや金木の特産品を使った軽食が味わえます。


芦野公園の夜桜


赤い屋根の喫茶店「駅舎」

奥津軽の芸能と技を体験

津軽三味線発祥の地、奥津軽の音色を楽しむ

たった3本の弦でダイナミックかつ繊細な音楽を奏でる津軽三味線。その元祖、仁太坊（秋元仁太郎）は五所川原市金木地区の出身で、苦労の末に「叩き奏法」など独自の演奏法を生み出します。やがて、彼の弟子たちが現在の津軽三味線の基礎を築きました。「津軽三味線会館」では津軽三味線の生演奏のほか、事前に予約すればプロから指導を受けて弾くこともできます。また、「津軽三味線全日本金木大会」および「仁太坊まつり」では、若手演奏家がエキシビションで熱い演奏を披露しています。


津軽三味線会館


仁太坊まつり

【津軽三味線会館】（MAP：Ⓓ F-3）
●期間／4月～11月 ●時間／9:00～16:00
●料金（入館）／一般600円、高大400円、小中250円、音出し体験有り※要問合
●演奏時間／1日5回各20分（8月4日～8日は6回）
●休／12月～3月
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
●問／津軽三味線会館☎0173-54-1616

【津軽三味線全日本金木大会】
●期日／7月上旬 ●場所・問／津軽三味線会館

【仁太坊まつり】
●期日／9月上旬 ●場所・問／津軽三味線会館

〝焼き締め〟の逸品、「津軽金山焼」

「津軽金山焼」は、釉薬を使わず、高い温度でじっくり焼き固める〝焼き締め〟という方法で造ります。最近では、酸素を送らずに焼成するグレー色の須恵器作品や、稲わらや林檎の木の灰を釉薬としたコラボレーション作品なども製作しています。津軽の土と炎から生まれる色合いと模様は、それぞれに異なり、同じものは一つもありません。素朴ですが深い魅力があります。


津軽金山焼の作品の一例

【津軽金山焼】
●時間／9:00～17:00 ●交通／JR五所川原駅より車約15分 ●問／☎0173-29-3350 ●MAP：Ⓐ F-3

金山焼陶芸教室「ちゅうばち」

手ぶらで気軽に金山焼の作品づくりを体験できます（通常は予約制）。手びねりと電動ろくろのコースがあり、個人、団体、出張教室もあります。わかりやすく丁寧に指導してくれるので、年齢を問わず、初心者でも安心して体験できます。




津軽金山焼の陶芸体験

【金山焼陶芸教室「ちゅうばち」】
●営業時間／10:00～15:00 ●所要時間／30分～90分
●料金／手びねり：2,200円（税込）
電動ろくろ使用：5,500円（税込）
●定休日／不定休（要予約）
●問／☎080-8488-2485 ●MAP：Ⓐ F-3


田舎のスイーツ

かなぎ元気村「かだるべぇ」で田舎体験

約150年前に建てられた民家を改装した「かだるべぇ」は、「一緒にやりましょう」という津軽の言葉から名付けられました。香りにリラックス効果がある青森ひばのリースや津軽に古くから伝わるものづくり、田舎のスイーツ作りなど、一緒にチャレンジしてみませんか？

【かなぎ元気村】
●期間／通年 ●時間／10:00～16:00 ●1週間前まで要予約
●休館／不定休※要問合 ●料金／要問合
●交通／津軽鉄道金木駅より車約12分
●問／かなぎ元気村「かだるべぇ」☎0173-52-2882 ●MAP：Ⓓ E-1

自然と風物詩を体感

日本三大美林、「青森ヒバ」の森を歩く

自然とふれあうなら〝奥津軽トレイル〟がおすすめ。かつて、木材を運ぶための森林鉄道が敷かれていた青森ヒバの森で、軌跡をたどる8つのコースがあります。ヘルスツーリズム認証プログラムによる、DAZAI健康トレイルも提供しています。





【奥津軽トレイルガイド】
●料金／半日8,800円、1日16,500円
※ガイド1名に対し10名以内
●所要時間（車の移動時間は別）／1時間30分～6時間30分
（MAP：Ⓐ 奥津軽トレイル 参照）
●問／かなぎ元気村「かだるべぇ」☎0173-52-2882

極寒の「地吹雪体験」

雪は空から降ってくるとは限りません。積もった雪が強い風で舞あがる「地吹雪」は、足元さえ見えなくなることもあります。「雪国地吹雪体験ツアー」は、北国の冬の衣装をまとって雪原を歩き、馬そりに乗って、津軽の料理で冷えた体を温めて、津軽の冬をたっぷり楽しめるツアーです。


雪に足をとられ転ぶこともあります


体を包む大きなブランケット「角巻」

【雪国地吹雪体験】
●期間／1月中旬～下旬の土・日曜 ※実施日は要問合
※1日限定10名まで ●料金／一般3,000円、子供500円 ※要予約
●場所／芦野公園周辺（MAP：Ⓓ D-2）
●問／津軽地吹雪会（代表・角田周）☎080-3195-4036

しじみ採り体験

十三湖に浮かぶ「中の島」は、しじみ採りができる遊漁場やアウトドア施設が充実。かつてこの地に大都市を築いた安藤氏の船をモチーフにした木製遊具や、歴史民俗資料館もあります。


しじみ採り体験

【しじみ採り体験】
●期間／4月下旬～9月下旬
●時間／9:00～15:00
●料金／500円
●場所／中の島ブリッジパーク（MAP：Ⓒ C-1）
●交通／JR五所川原駅より車約50分
●問／市浦地域活性化センター☎0173-62-2775

歴史探訪

幻の中世湊湾都市、十三湊と安藤氏

十三湖周辺には、鎌倉時代から室町時代にかけて栄えた、幻の大都市「十三湊」がありました。この都市を築いたのが安藤氏です。彼らは津軽海峡を挟んだ北海道に住むアイヌ民族とサケ・昆布・毛皮など北方産品の交易によって、多くの富と財力を築きました。
十三湖周辺には安藤氏が本拠とした「福島城跡」や「唐川城跡」、安藤氏が厚く保護した「山王坊・日吉神社」など、中世の世界を思わせる旧跡が今も残っています。また、遺跡からは中国の白磁や青磁、朝鮮の高麗青磁などさまざまな陶磁器も見つかっています。市浦歴史民俗資料館では、これらの出土品や安藤氏の繁栄を伝える資料を展示しています。

【市浦歴史民俗資料館】
●時間／9:00～16:00 ●休館／12月1日～翌3月31日
●料金／一般310円 ●交通／JR五所川原駅より車約50分
●問／市浦地域活性化センター☎0173-62-2775
●MAP：Ⓒ C-1


唐川城展望台から十三湖を望む（MAP：Ⓒ B-2）



食とショッピング

グルメ情報➡
もぐもぐ
五所川原

生産量全国トップクラス！十三湖の「ヤマトシジミ」＆ブランド和牛・市浦牛

しじみは、おいしいだけでなく、体に良い食品として昔から親しまれています。青森県で3番目に大きい湖「十三湖」は、ヤマトシジミの漁獲量が日本有数。一年を通して獲れますが、身が大きくなる夏の「土用しじみ」と、身は小さいけれど栄養をたっぷり蓄えた冬の「寒しじみ」が特に美味。しじみの旨みたっぷりのラーメンや汁焼きそばも人気です。また、市浦牛は昭和62年、仙台市で開かれた東北・北海道ブロックの品評会で東日本チャンピオンに輝き、高級ブランドとして知れ渡ることになりました。市場に滅多に出回らない幻のブランド牛です。


しじみラーメン


しじみの汁焼きそば

【しじみの汁焼きそば】
●期間／通年
●時間・料金／各店で異なります
●場所／道の駅十三湖高原「トーサムグリーンパーク」
●問／レストランわらび ☎0173-62-3710

【しじみラーメン】
●期間／通年
●時間・料金／各店で異なります
●場所／十三湖中の島近辺（MAP:ⓒC-1）
●交通／JR五所川原駅より車約50分
●問／ドライブイン和歌山☎0173-62-2357
レストランわらび☎0173-62-3710





【市浦牛】
●場所／道の駅十三湖高原「トーサムグリーンパーク」（MAP:ⓒC-3）、他
●開館／9:00～18:00（4月～10月）、9:00～17:00（11月～翌3月）
●交通／JR五所川原駅より車約50分
●問／☎0173-62-3556

市浦牛／道の駅十三湖高原「トーサムグリーンパーク」で販売

皮も身も、ぜんぶ「赤～いりんご」

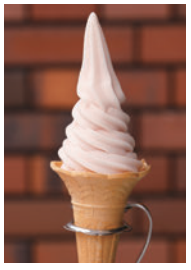
五所川原市には、皮だけでなく、花や葉、果肉も赤い、世界でも珍しいりんご〝御所川原〟があります。鮮やかな赤い色と軽やかな甘さを活かした商品も様々あります。ワインやジュース、ジャム、麺など、どれも無添加・無着色。りんご本来の、自然なおいしさです。



【「でる・そーれ」で販売】
●期間／通年（赤～いりんごが無くなり次第終了）
●時間／10:00～16:00
●休／第1・3日曜、水曜
●交通／JR五所川原駅下車すぐ
●問／でる・そーれ☎0173-34-3971
●MAP:ⓑC-2



「赤～いりんご」のソフトクリーム



とても珍しい、皮も実も「赤～いりんご」には、一般的なりんごに比べ、健康に良い成分も豊富に含まれています。そんなりんごを混ぜたソフトクリームは可愛いピンク色。甘くて爽やかな味わいです。

【立佞武多の館内喫茶で販売】
●時間／9:00～16:30 ●休／1月1日（営業の場合有。要問合） ●入館料／立佞武多展示室一般800円
●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
●問／☎0173-38-3232 ●MAP:ⓑC-2

サクッカリッの食感！「あげたい」

注文を受けてから揚げるので出来たて熱々。学校帰りに、ちょっとした手土産に、地元民御用達のおやつ。「○○してあげたい」という気持ちを込めた縁起物としても人気。「みわや」には〝揚げたい〟メニューがいっぱいです。

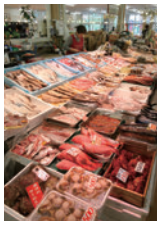


【あげたいの店「みわや」】
●時間／9:00～17:00（無くなり次第終了）
●休／日曜 ※臨時休業有り
●交通／JR五所川原駅より徒歩約7分
●問／☎0173-34-2064 ●MAP:ⓑB-2

市場グルメと海鮮丼

「立佞武多の館」の隣にある「マルコーセンター」は新鮮な魚や津軽らしい食材を販売する市場です。近海の魚介や伝統的な加工品などが盛り沢山。市場内では、自分のすきな刺身などを購入して、オリジナル海鮮丼を作ることもできます。





【マルコーセンター】
●時間／8:00～18:00 ●休／日曜、1月1日・2日
●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
●問／☎0173-34-2264 ●MAP:ⓑC-2

【麺屋はばたけ】
●時間／11:00～15:00 ●問／☎0173-26-6838
※交通・MAPとも「マルコーセンター」に同じ

ELM（ショッピングセンター）

ファッションにコスメ、雑貨、寿司やラーメンなどのフードまで必要なものが揃うショッピングセンターです。中でも、青森県内で獲れた新鮮な海産物や加工品、惣菜などが格安の値段で並ぶ「新鮮市場」は五所川原市民の台所。


ELM


ELM（館内）


ELM（新鮮市場）

●時間／10:00～21:00※テナントにより異なります ●休／無休 ●交通／JR五所川原駅よりバス約15分 ※駅前バスセンターより直行バス有り
●問／☎0173-33-4000 ●MAP:ⓑE-3

金木名物、馬肉料理

特選の馬肉をじっくり煮込み、スパイスを効かせた「激馬かなぎカレー」や馬肉を使ったまんじゅう「馬まん」は芦野公園駅の旧駅舎を改装した赤い屋根の喫茶店「駅舎」でいただけます。


激馬かなぎカレー

【赤い屋根の喫茶「駅舎」】
●時間／10:00～17:00（LO16:30）
●休／水曜、年末年始（要問合）
●交通／津軽鉄道芦野公園駅より徒歩すぐ
●問／0173-52-3398 ●MAP:ⓓE-2

県産りんごのブランデー蒸溜所

「立佞武多の館」の向かいに2021年にオープンした「モホドリ蒸溜研究所」では、りんごや酵母など、すべて青森県産の原材料を使用した「アップルブランデー」を購入することが出来ます。施設内には工場が併設されているほか、ドリンクカウンターもあるため、蒸溜設備や作業の様子を見ながらブランデーの試飲をすることが出来ます。



モホドリ蒸溜研究所
●時間／10:00～18:00 ●休／月曜
●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
●問／☎0173-23-5805 ●MAP:ⓑC-2

寿司店の多い五所川原市

交通の要所として日本海の新鮮な海産物が集まり、裕福な商人がいた五所川原市は、たくさんのお寿司屋さんが腕前を披露する寿司の激戦区。人口に対して寿司店の数が明らかに多いのです。鮮度の良い魚と、津軽のおいしいお米、職人のこだわりがつまった寿司をどうぞ。



●場所／五所川原市中心街、金木町中心街
●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分～20分 または津軽鉄道金木駅より徒歩約10分
●問／五所川原市地域物産振興課☎0173-35-2111

金木観光物産館「産直メロス」

地元で採れた季節の野菜や果物の販売や、海産物や惣菜、お土産品、工芸品等も店頭に並びます。地元密着型としているため、コアな奥津軽を満喫出来ます。



●時間／9:00～18:00 ●休／12月30日～1月2日
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩7分
●問／☎0173-54-1155 ●MAP:ⓓF-3